



# 和敬塾メールマガジン第41号



2023 年8月7日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第41号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 留学生のレオ・ベルジオ君が研究発表を行いました！

現在、和敬塾には多くの留学生が在籍しています。その多くが半年や1年の短期留学の交換留学生です。今回、紹介するレオ・ベルジオ君もその一人で、フランスの国立東洋言語文化学院から上智大学・国際教養学部 of 交換留学生(大学4年生)として昨年9月に和敬塾に入塾しました。

今回、2セメスター(秋学期と春学期)の授業が終了し、8月初旬に退塾することとなり、その節目として、7/30(日)に大講堂で「**ぼくらの未来(ぼくたちはどう生きるか)**」と題する研究発表を行いました。



研究発表を行うレオ君



レオ君がデザインしたポスター

レオ君の専門科目は文化人類学で、その中の「文化人類学方法論演習」の研究テーマとして「**和敬塾という共同体**」を掲げ、塾生の日常生活や交流の姿等をつぶさに観察。7月末にはその研究論文を担当の准教授に提出しました。

しかし、今回の研究発表は**地球環境問題がテーマ**でした。

レオ君に聞いたところ、日本に1年近く住んだ実感として、**フランスに比べ日本は地球環境問題に対する意識が薄いように感じた**ので、それを考える必要性を塾生に訴えたかったそうです。フランスの大学でも上智大学でも「自然と社会」をテーマにした授業があったそうで、今回の研究発表ではその中で学んだ様々なデータを中心に、右上のスライドにある内容の発表を行いました。何とスライド枚数が95枚で、90分を超える発表でした。



まず、レオ君がデザインした「ぼくらの未来」のプレゼンでは、機械(ロボット)が人間を助けてくれて、豊かな未来社会が実現できると提言し、機械(ロボット)の有用性を**流暢な日本語で説明**。その豊かな未来社会を創造する為には現在の社会を知るべきであると話題を拓げました。

その後、人間社会が豊かになる為に石油に依存した現代のエネルギー事情を様々なデータや動画を使って説明。

一転**今年の夏が300万年間で一番暑い夏だ**と現実を見つめるプレゼンを紹介。気候変動が人類に対して、どのような危険があるか IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)の2100年の地球の未来予想図の4項目を説明して、**ぼくらの未来の危険性**を訴えました。

その裏付けとして化石エネルギーの限界量や、化石エネルギー使用量と地球の平均気温上昇の相関関係、自然災害等を次々と説明し、**経済成長＝化石燃料を消費する現代社会**を問い直しました。

まとめとして「未来は二つある」と参加者に選択肢を問いかけて自分が何をすべきか、さらにこの未来は200年先、300年先ではなく20年先、30年先の未来だと締めくくりました。

最後に以下のような質疑応答(抜粋)がありました。

Q.北寮・アルベルト君:なぜ、このテーマを選んだのか?

A.フランスに居る姉が大学で気候変動に関して研究しており、上智大学の「自然と社会」の授業の影響もある。

Q.西寮・金山君:環境の事を考えると、CO2を減らさないといけない事は理解できるが、沢山使用して豊かになった先進国と、これから使って豊かになりたいと考えている発展途上国についてどう考えるか?

A.国際機関や各国政府の取組に任せるだけではなく、自分達が自分事としてCO2削減に取り組むべきと思う。

他にも代替エネルギーや原子力エネルギー利用などフランス、イタリア、ドイツなどの現状も踏まえた議論が展開され2時間の研究発表会が終了となりました。

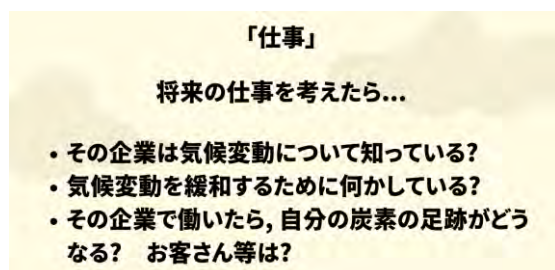
これまでもこのメールマガジンでレオ君を何回か紹介しましたが、フランスに帰っても和敬塾での思い出を胸に更なる活躍を期待します!



第32号:塾祭



第37号:演劇祭



<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku.jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku.jimukyoku@wakei.or.jp)>





# 和敬塾メールマガジン第42号



2023年8月9日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第42号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 塾友の岸野圭作氏の個展が安曇野で開催されています！

和敬塾の塾友(OB)は様々な分野で活躍されていますが、今回紹介する岸野圭作さん(51 南)はその代表とも言える存在です。

岸野さんは和歌山県出身で専修大学に入学と共に昭和47年に和敬塾に入塾されました。幼少の頃から絵が大好きで、和敬塾の居た頃から絵を描いていたようですが、在塾中に日本画家の加藤東一画伯に師事。昭和51年秋には日展初入選を果たしました。

その後、ほぼ毎年のように日展に出品し、昭和55年と平成元年には特選を受賞されています。現在は日展会員で、審査員も務められています。

平成18年に長野県安曇野市に居を移され、以来、安曇野市を拠点に創作活動を行っており、古希を迎えるにあたり、日展の入選作を中心に約100点の作品を展示した回顧展が安曇野市豊科近代美術館で開催されています。

### 【訪問記】

この回顧展は8/5(土)～8/27(日)にかけて開催されるということで、初日の8/5(土)に、和敬塾の前川理事長と岸野圭作さんの和敬塾南寮の一年後輩に当たる吉井友実さん(52 南・兵庫県在住)と一緒に鑑賞して参りました。

美術館の玄関を入ると、個展の初日でもあり、お祝いの胡蝶蘭がいくつも飾ってあり、すぐに会場から岸野圭作さんご夫妻と息子さんの田(でん)さん(塾友:H19 南)ご夫妻が玄関に来てくれました。

美術館の1階は彫像を中心とした常設展で、岸野さんの個展会場は2階の全フロアを使い、約100点の作品がいくつかの部屋にゆったりと展示されていました。大半が日展の出品作品で和敬塾にある絵(作品名「炎」:サイズ/180cm×180cm)と同じくらいか、もう少し大きい作品が多数展示されており、とても見応えがありました。

岸野さんの作品は人物画の他、静物画や風景画など多岐に渡りますが、青や赤の色が特に印象的でした。中には



和敬塾に寄贈された絵「炎」の前で作者と理事長



岸野氏、理事長と歓談する吉井氏(52 南)

和敬塾在塾中に南寮内で描いた作品(作品名「あひるのひるね」)もあり、同行した吉井さんも「これこれ、この絵を描いていたのを覚えています」と言われていました。それを聞いた岸野さんは「吉井君が来るというので、塾時代の作品も出すことにしたんだよ!」と言われていました。(笑)

見応えのある作品ばかりですので、北アルプスの麓に広がる自然豊かな安曇野の美術館に足を運ばれたらいかがでしょうか!



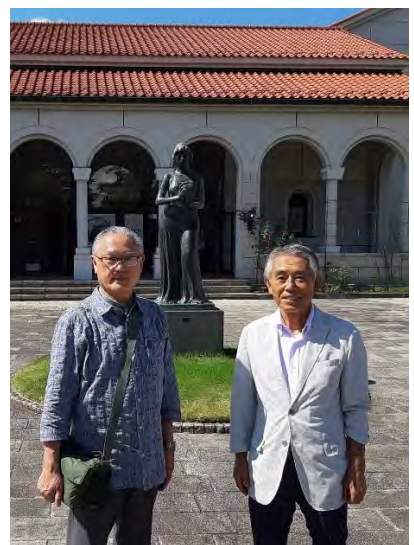
作品名「両忘」の前で、左から 筆者、前川正・和敬塾理事長、吉井友実氏、岸野圭作氏



和敬塾時代の作品の前で、吉井氏



美術館玄関前で、岸野田氏と吉井氏



美術館前で、筆者と吉井氏

※場内の写真は特別の許可を戴き、撮影しました。

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku.jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku.jimukyoku@wakei.or.jp)>





## 和敬塾メールマガジン第43号



2023 年8月31日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 43 号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

### 和敬の森を守る樹木の計画剪定が始まりました！

ノルウェイの森の舞台にもなった和敬の森を守る樹木の計画剪定が始まりました。今年度は 2 回に分けて実施予定で、第一期作業がこの 8 月下旬から 9 月初旬にかけて実施し、第二期作業が来年の 1 月から 2 月にかけて実施予定です。

今回の第一期作業の剪定区域は①正門から銅像前までの道路両側の高木、②旧乾・南寮周辺の中・低木、③新南寮・東寮周辺の高木及び中・低木(胸突坂へ向かう道路側の樹木を含む)を予定しています。また、第二期作業は本館裏庭及び本館周辺、肥後細川庭園との隣接地を予定しています。

なお、今回の剪定は塾友の奈喜良忠浩さん(H3 西)が代表を務める「庭忠」が作業をしています。

平成 30 年(2018年)9月末に記録的な暴風で日本列島を縦断した台風24号。この大型台風は関東でも大規模停電など多大な被害を出しましたが、和敬塾も大きな被害を受けました。それが下の写真にある樹齢100年以上と推定されるヒマラヤ杉の倒木です。暫く枝切りをしていなかった為、枝葉が鬱蒼と重なり合って生い茂っていたため、強い風をもろに受け、耐えられなかったようです。



上記の 2 枚は記録写真より  
抜粋

今も北寮前に残るヒマラヤ杉  
の切り株と北寮棟を守ってく  
れた大イチョウの木



来塾された際にご確認ください！



この時は幸い北寮手前のイチヨウの大木に寄りかかるように倒れた為、隣接する民家や北寮棟にも被害は無く、塾生や職員等への人的被害ありませんでした。この時の反省を踏まえ、翌年には高木を中心に剪定をしましたが、今回は4年ぶりの大規模な計画剪定となります。

下の写真にもありますように、背の高い木が多い為、高所作業車を駆使しての剪定作業となり、猛暑の中、連日熱い闘いが続いています！

### 2023年8月 和敬塾 植栽剪定 途中経過 (8/24⇒8/30)



8/24(木) 正門より本館に向かって



8/30(水) 北寮玄関前のさっぱりした樹木



8/24(木) 銅像側より正門に向かって



8/30(水) **大イチヨウも涼しげです！**

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku jimukyoku@wakei.or.jp)>





# 和敬塾メールマガジン第44号



2023 年 9 月5日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 44号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 4 年ぶりにフルスペックの体育祭が始まりました！

新型コロナは社会に多大な影響を及ぼしましたが、特に今の大学 4 年生は大学の入学式も無く、授業も通常の対面では無く WEB 授業が大半でした。和敬塾も他人ごとではなく、彼らが入塾した2020年は入塾式も無く、塾生が一番楽しみにしている体育祭も中止せざるを得ませんでした。

一昨年は感染状況が多少落ちついたため 12 月初旬に 3 日間限定で協議種目を絞って「スポーツフェスティバル」として開催されました。そして昨年は騎馬戦、相撲などの濃厚接触競技を除いた 11 種目の競技で「漢(おとこ)の夏祭り」と称するミニ体育祭が 9 月初旬に和敬塾グラウンドや外部運動場等を利用して行われました。

そしていよいよ**今年は騎馬戦を含めたフルスペックでの開催が実現し、9/4(月)～9/17(日)までの予定で 4 寮対抗の体育祭の火ぶたが切って落とされました！**

但し、和敬塾の騎馬戦は大将を落とすまで行われるため、今の在塾生はそうした騎馬戦を全く経験していないため、安全第一を考え、8/22(木)と 8/23(金)には体育部長や大将、寮職員を対象にした救急救命講習会を実施すると共に、8/27(日)には騎馬戦講習会が開かれました。また、その前の 8/24(木)には西寮の寮生が率先してグラウンドの石拾いをしてくれました。これには施設管理グループの職員も涙を流さんばかりに喜んでいました。



騎馬戦講習会



西寮生によるグラウンドの石拾い

以下が今年の体育祭の日程表です。

体育祭 日程表(予定)												本祭	本祭予備日
	9/4(月)	9/5(火)	9/6(水)	9/7(木)	9/8(金)	9/9(土)	9/10(日)	9/11(月)	9/12(火)	9/13(水)	9/14(木)~16(土)	9/17(日)	9/24(日)
8:00	サッカー			オフ			オフ				オフ(予備日)		
9:00													
10:00										ドッジボール			
11:00		リレー、五人六脚			野球			バスケットボール					
12:00													
13:00									バレーボール				
14:00													
15:00	相撲		碁石リレー			卓球							
16:00	腕相撲		綱引き							障害物競走			
17:00													
18:00													
19:00													
20:00						e-sports						閉会式	同左・予備
開催場所	目白台	江戸川競技場	和敬		目白台	新南京地下		スポーツセンター	江戸川橋	和敬		和敬	和敬
	和敬					大講堂						大講堂	大講堂

(備考) \*目白台=目白台運動公園

\*スポーツセンター=文京スポーツセンター

\*江戸川橋=江戸川橋体育館

初日の 9/4(月)のサッカーですが、当初 8 時から和敬塾の隣の目白台運動公園で開催予定でしたが、生憎、朝から強い雨が降っていたため、運動公園の管理者からの要請で 10 時まで様子見となり、一旦は開催不可となりました。しかし、その後雨がやみ、塾生が粘り強く交渉し、12 時～14 時の間でサッカーの試合を開催することができました。しかし、予定していた全試合ができなかったため、残り試合は上記日程のオフ日(予備日)で開催することになります。以下が初日のサッカーの様子です。



本祭の騎馬戦は 9/17(日)を予定しています。奮っての応援をお願い致します！

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記をお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku\\_jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku_jimukyoku@wakei.or.jp)>





# 和敬塾メールマガジン第45号



2023 年 9 月15日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 45号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## いよいよ体育祭も佳境に入って来て、残すは 17 日(日)の 本祭(騎馬戦)を残すばかりとなりました！

9 月 4 日(月)のサッカーから始まった今年の体育祭ですが、いよいよ佳境に入って来ました！今年の体育祭は初日の午前中が雨に見舞われ、サッカーも全試合を消化できず、一部を翌日以降に順延するなどしてやり繰りしてきました。そして、8 日(金)が終日雨となり、この日に予定していた野球は中止となりましたが、その他、6 日(水)の昼過ぎと 9 日(土)の午前に多少の雨が降ったものの、後はほぼ天候に恵まれ、ほとんどのゲームが消化されました。

特に 13 日(水)と 14 日(木)には塾内のグラウンドでドッジボール、障害物競走、5 人 6 脚競争、相撲など、一部順延になっていた競技を含め一気に消化し、残すは 17 日(日)の本祭・騎馬戦を残すばかりとなりました。今のところ、当日は晴れ時々曇りの天気予報となっており、予定通りの開催となりそうです。

**皆さん、奮っての応援をお願い致します！**

(全国的にコロナ感染がはやりつつあります。応援に当たっては極力マスクの着用をお願い致します。)



9/11 碁石リレー



9/13 ドッジボール



9/13 障害物競争



ガリガリ君食べ食い競争



ヤクルト飲み干し競争



## 9/14 に行われた相撲では留学生も大奮闘しました！



### 【体育祭・本祭：騎馬戦タイムスケジュール】

【日時】 9月17日(日)9:30～16:30

【場所】 和敬塾グラウンド

試 合	時 間	試 合 寮
第 1 試合	9:30～10:30	北寮 VS 新南寮
第 2 試合	10:30～11:30	東寮 VS 西寮
(昼食・休憩)	(11:30～12:30)	-
第 3 試合	12:30～13:30	西寮 VS 北寮
第 4 試合	13:30～14:30	新南寮 VS 東寮
第 5 試合	14:30～15:30	西寮 VS 新南寮
第 6 試合	15:30～16:30	北寮 VS 東寮

(騎馬戦終了後、閉会式)

<文責：佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku\\_jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku_jimukyoku@wakei.or.jp)>





## 和敬塾メールマガジン第46号



2023年9月19日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第46号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

### 体育祭は東寮が騎馬戦も制し、総合優勝を飾りました！

9月4日(月)から始まった今年の体育祭ですが、17日(日)に本祭(騎馬戦)が行われ、4寮総当たりの6試合が行われ、**東寮が3戦全勝**を飾り、騎馬戦の優勝寮となり、その他の多くの種目でも得点を重ね、今年度体育祭の**総合優勝**を飾りました。

このメールマガジン第44号でも紹介しましたように、今回の体育祭は4年ぶりにフルスペックでの開催となり、在塾生にとっては初の騎馬戦となりました。この間、各寮とも多くの若手塾友が騎馬戦練習の指導に来てくれ、秘策を伝授。また、基礎体力もきちんと整えた上での戦いとなり、大きな怪我も無く、6戦を無事終了することができました。

当日は絶好の天候に恵まれ、多くの保護者や塾友が応援に駆け付け、寮生に負けない大声で声援をし、塾全体が大きな盛り上がりを見せた一日となりました。

和敬塾の騎馬戦は各寮の大將を落とすまで戦う真剣勝負が売りで、10年程前の騎馬戦は勝ちにこだわるあまり、大將を守ることに終始し、1試合が1時間以上もかかることが頻繁にありました。しかし、あまり試合が長いと騎馬を担う下級生の足に大きな負担がかかり、いざ敵陣に攻め込もうとすると前のめりに倒れることがしばしばあり、危険な試合がいくつかありました。

こうした反省のもと、7年ほど前からは一試合の時間も短くなり、今年の騎馬戦も最大31分、最短は7分という各試合とも潔(いさぎよ)い戦いになりました。

(第一試合開始:9時半、全試合終了:17時)



朝8時グラウンドの最終点検をする職員

#### <第1試合:北寮 VS 新南寮>



北寮大將が敵陣に攻め入るも大將が陥落！

**第1試合:新南寮の勝利(試合時間7分)**



試合後のエール交換



## <第2試合:東寮 VS 西寮>



西寮大将が敵陣に攻め入り、大将同士の長い一騎打ちの末、惜しくも陥落！

試合時間19分、和敬塾騎馬戦史に残る見事な戦いでした！

**第2試合:東寮の勝利(試合時間19分)**

試合後のエール交換

## <第3試合:西寮 VS 北寮>



双方 5 騎ずつのコンパクトな試合となった西寮と北寮の戦い。  
北寮の大将が敵陣に攻め入るも敢え無く陥落、文字通り潔い戦いでした！

**第3試合:西寮の勝利(試合時間 7 分)**

試合後のエール交換





### <第4試合:新南寮 VS 東寮>



互いに大将を温存する戦法でこう着状態が続く長い試合でしたが、新南寮が敵陣に攻め入り、陥落。31 分という今回一番の長い戦いとなりました。

**第4試合:東寮の勝利(試合時間 31 分)**

試合後のエール交換

### <第 5 試合:西寮 VS 新南寮>



互いに 1 勝 1 敗で迎え、実質的な準決勝となった西寮と新南寮の戦いは、新南寮に軍配が上がりました！

**第 5 試合:新南寮の勝利(試合時間 13 分)**



試合後のエール交換



# <第6試合:北寮 VS 東寮>



ここまで 2 敗で一矢報いたい北寮でしたが、強敵東寮にほぼ互角の戦いを演じたものの、大将同士の戦いで惜敗しました。

## 第 6 試合:東寮の勝利(試合時間 16 分)

試合後のエール交換



騎馬戦・勝敗表		
寮	勝	敗
東寮	3 勝 0 敗	
新南寮	2 勝 1 敗	
西寮	1 勝 2 敗	
北寮	0 勝 3 敗	

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku.jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku.jimukyoku@wakei.or.jp)>





# 和敬塾メールマガジン第48号



2023年10月4日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第48号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 和敬塾本館で撮影したサザンオールスターズの「Relay ～杜の詩」のミュージックビデオが公開中です！

9/18(月・祝)より配信中のサザンオールスターズ「Relay～杜の詩」のミュージックビデオが、9/20(水)より公式 YouTube チャンネル等で公開されています。[サザンオールスターズ「Relay～杜の詩」ミュージックビデオ公開!!サザンオールスターズ Official Site \(southernallstars.jp\)](https://southernallstars.jp)

「Relay～杜の詩」は9/2(土)にラジオ番組『桑田佳祐のやさしい夜遊び』(TOKYO FM)で初めて発表された楽曲で、サザンオールスターズや桑田さん自身がレコーディングに使用している青山ビクタースタジオに近い明治神宮外苑の再開発計画に対する問題提起を唄った楽曲として注目されています。

今回、公式 YouTube チャンネル等で公開されたミュージックビデオについて、サザンオールスターズのオフィシャルサイトでは「モノクロの世界で森や都会の街並みを歩く桑田佳祐と、街に息づく人々の営みを捉えるカラーの映像、**歴史を感じる建物**の中で和やかに演奏するサザンメンバーなどのシーンで構成されており、楽曲のもつ、静謐かつどこか力を秘めたドラマティックな世界観を、現代的な質感でアーティスティックに表現しています。」と紹介されています。

**この「歴史を感じる建物」が和敬塾本館です。**「Relay～杜の詩」が持つメッセージを、映像でもぜひご覧ください！

(以下の写真はサザンオールスターズのオフィシャルサイトの映像から撮影したものです。)



なお、今回の配信にあたっては、ミュージックビデオの制作関係者の方と相談の上、9/27(水)～10/1(日)に開催された「茅ヶ崎ライブ 2023」の終了を待っての配信とさせて戴きました。

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku.jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku.jimukyoku@wakei.or.jp)>





# 和敬塾メールマガジン第49号



2023 年10月10日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第49号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 西寮の加納副寮長が重量挙げ全日本マスターズで V2 達成！



西寮の加納博樹副寮長(64)が、ウェイトリフティングの第41回全日本マスターズ選手権大会(9/30~10/1、金沢市)で**昨年に引き継ぎ優勝し、2連覇を達成しました。**

加納さんは大学(慶応義塾)入学後にウェイトリフティングを始め、4年間は続けたものの、社会人になってからは競技から離れ、不摂生がたり、体重も80kgを超えたと言います。その反省から、ストレッチ・ウェイトトレーニング・禁酒などで、1年で体重を58kgに絞り、52歳になった2012年秋から練習を再開したとのこと。

2013年から競技に出場し、全日本マスターズは7回出場し、今回を含めて3回優勝し、2016年から2018年にかけ世界大会にも参加し、**2017年ワールドマスターズゲームズでは優勝**、その他は2位という輝かしい成績を残しています。

加納さんは大手生命保険会社を退職後、令和5年1月から和敬塾に勤務し、5月から西寮の副寮長を勤めています。

今回出場したのはM60カテゴリー(男子60歳~64歳)の61kg級で、この大会を目指し体重調整のために、和敬塾食堂での美味しい昼食も我慢し、おにぎり1個とナッツ20個だけという節制をし、勤務の合間には西寮地下で寮生と一緒に練習に励み、その努力が実を結びました。

現在、日本ウェイトリフティング協会のマスターズ委員として、競技の普及と若手の育成に頑張っており、和敬塾においても、「**1)選手で試合に出たい人、2)ウェイトトレーニングを積み重ねて身体(体幹)を強くしたい**」という寮生が**居たら指導したい**」とされています。以下、寮生のコメントを紹介します。

### <西寮4年:鈴木翔也君のメッセージ>

加納さんは普段から西寮生と積極的に交流をしてくださり、その時見せる笑顔と優しさと頼もしさで西寮生を支えてくださる人です。これからも西寮生を温かく見守ってくださると嬉しいです。優勝本当におめでとうございます！

### <西寮4年:二宮聖夢君のメッセージ>

加納さんはいつも西寮生と笑顔で接してくださり、身体だけでなく心まで頼もしい存在です。体育祭の際はストレッチや筋トレの面で西寮のサポートをしていただき、西寮が体育祭期間を過ごす上で欠かせない存在となっていました。今後とも西寮とウェイトリフティングの双方での活躍を願っています。

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku\\_jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku_jimukyoku@wakei.or.jp)>



スナッチ競技に臨む加納さん



見事優勝！



胸に輝く「和敬塾」！





# 和敬塾メールマガジン第50号



2023 年 10 月25日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第50号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 10/7(土)に栄東高校生の皆さんと交流会を実施しました！



参加者全員の記念写真(和敬塾・学生ホール2階・大講堂前の廊下にて)

今回は、和敬塾新規プロジェクト担当の西田が、佐々木常務理事と共同企画した栄東高校(埼玉県)との交流会の様などをお伝えします。

快晴の下、高校での午前授業終了後に独自ルートで来る生徒さん一行8名(2年生)を、一足先に来られて正門でその到着を待たれていたご担当の高橋先生とのすれ違いから、生徒さん一行が先に元気に教室に顔を出すというちょっとしたハプニングがありましたが、予定時間の14時40分に企画はスタートしました。

交流会を始める前に、今回の交流会メンバーの生徒さん達と5月から一緒に始めている土曜総合学習で前回提示した課題「若者の選挙投票率の向上対策」について、3グループから発表がありました。その詳細は紙面の都合で記載できませんが、投票の機会、投票の仕方を中心に、テクノロジーの活用や外国事情など、それぞれ色々な角度から踏み込んでアプローチしていて、いずれもとても素晴らしい内容の発表となりました。



土曜総合学習の勉強会(和敬塾第3教室)



その後、今回の学習テーマ「産業」についての講座終了後、16時から交流会が開始されました。生徒さん2名が今回都合で参加できませんでしたが、和敬塾から参加した中井平蔵君(早稲田大学先進理工学部3年)と篠原優輝君(東京大学法学部3年)からの自己紹介後、2グループに分けられました。

2021年の縄跳び全日本三重跳び部門で優勝し、大学の他、42Tokyoのプログラミングスクールでも学び、寮生活では寮生を牽引し、海外旅行大好きで、持ち前の熱量で自分の体験を通した中井君の話に、生徒さんは真剣に耳を傾けながらやりとりをしていました。

一方、和敬塾の教養講座の居合道に参加していて最近二段に昇格し、法曹界を目指す篠原君は、中・高からの剣士の落ち着いた佇まいとソフトな語り口で、ひとりひとりに丁寧に聞きこみながら、一つ一つ分かりやすく対応しているという具合に、二人の対応は対照的でしたが、それぞれの持ち味で楽しく進められている様子からは和敬塾の多様性が垣間見られていました。

自分の将来が良く分からないのに学部を決めなければならない悩みには、「今決められなくても当然で、寮で色々な人に出会って自分を見つめることができた」という話や、「大学は高校とは違い自由があるので、そこで何をやるかという時に高校時代で蓄積した努力や忍耐力が生きてくる」という話から、大学受験について、東大の教養学部の仕組みや、「試験時の時間配分や解く順番が大事」といった秘策？まで、先生や親御さんには聞けない現実的な突っ込んだ話もあったようです。

交流会は、盛り上がりの中で時間が迫り途中で話を終えざる得なくなりましたが、話の深掘りは生徒さんに刺激と気付きを与えたようで、「高校以外の知見に触れ、優しくて、三者面談と違う(笑)」、「実用性と関心がかみ合わない自分を肯定できた」、「夢を持ってない自分のモチベーションが上がった」といった正直で心のこもった感想を頂き、中井、篠原両君にとっても感じるところが大いにあったようです。

今回の交流会は、前川前理事長(現塾長)による2回の講演や宇宙飛行士を目指す塾生の講演という形で同校との関係性を深めて行く中で、土曜日の総合学習(アクティブラーニング)で社会人ゼミを設けたいというご提案から始まったゼミの会場を和敬塾に移して企画したものです。

ちなみに、ゼミは「レシートから見てくる日本社会の仕組み」をテーマに掲げ、年15回の内、「法・統治・産業・税・国債・米国・人口」を5回に分け、西田の前職(航空会社)での実務体験も盛り込んで、手作りの教材の印刷・配布の支援を毎回高橋先生に仰ぎながら実施しています。

各講座終了後には課題を提示し、高橋先生のご指導の下でその解を求める学習を進めていただき、その結果を次回の講座でグループ発表するという形で進めています。次回10/28の最後のゼミで9つの探求選択課題を提示し、2/10にその探求結果をグループ発表してゼミは終了となります。

17時過ぎに歴代講演者の色紙をバックに記念写真を撮り、解散後の帰り路では、「生徒たちは、とても楽しかったと喜んでいました。」と高橋先生から伺い、今後に向けての何よりの励みとなりました。



和敬塾の3名:左から 篠原君、中井君、西田



中井君を囲んでのディスカッション



篠原君を囲んでのディスカッション

<文責:西田健一(和敬塾事務局)>

メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku\\_jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku_jimukyoku@wakei.or.jp)>





# 和敬塾メールマガジン第 51号



2023 年10月25日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 51号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 塾友がプロデュースした番組が NHK・BSP で放送されます！

今年のメールマガジン第 25 号でもご紹介した塾友(昭和 51 年北寮卒)の井上隆史氏(元東京藝術大学 社会連携センター 特任教授、元 NHK 放送センター放送総局エグゼクティブプロデューサー)より、以下のようなメールが入りましたのでご紹介致します。

私が企画協力した番組が今週末の 10 月 28 日(土)午後 19 時半から NHK・BSP で放送されます。

チベットは魅力的な地域ですが、今世紀に入ってから、チベットにはなかなか取材に入れません。今も日本人の撮影チームへは取材ビザが下りません。観光ビザも厳しいようです。中国での 30 年来のパートナーである友人が、今回特別の許可を取り、中国のスタッフで撮影した映像を NHK が編集してくれました。

本来ならば自分が行きたかったところですが、ビザの問題もあり、さすがに 70 歳を過ぎて現場は難しくなりました。遠隔指示で撮影も編集も進めましたが、私はほぼボランティアの影武者です。コロナに翻弄され、2 年がかりの撮影でやっと完成しました。

チベットの人たちにとって聖なる山とされるカイルスとヒマラヤの絶景に癒されます。政治の枠を取り除き、チベットの人たちのために、チベットの魅力を世界に伝えることが何よりも大切だと私は思っています。近い将来、チベットに自由に行ける日が来ることを心より祈るばかりです。

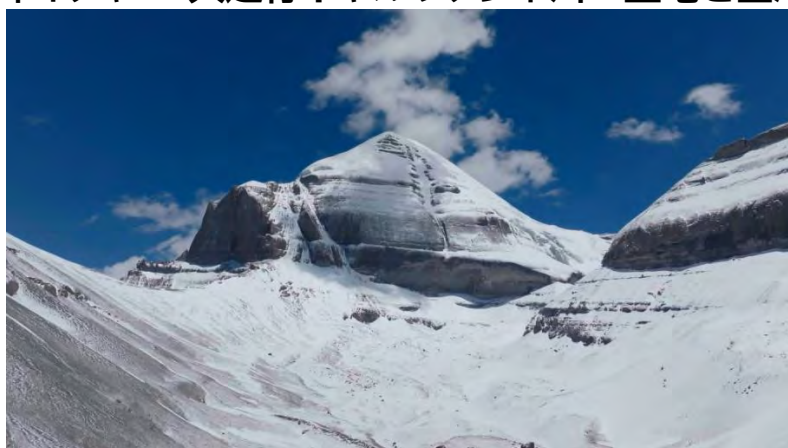
BS4K では 9 月下旬に放送されましたが、今回、NHKBSP でも放送されることになりました。お時間があればぜひご覧ください。

51 年北寮卒 井上隆史



井上隆史氏

## 体感！グレートネイチャー「大遡行！ヤルツァンポ川～聖地を生んだ大陸衝突～」



チベット天空の大河に沿って点在する絶景の聖地。断崖の修行洞窟、世界最高所の間欠泉、聖山カイルスに謎の河源「馬の口」…大陸衝突の最前線をめぐり聖地誕生の謎に迫る！

(上記写真やコメントは(株)アズマックスのホームページより借用しました。)

※NHKBS プレミアム:2023 年 10 月 28 日(土)19:30～20:59(BS4K 同時放送)

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku\\_jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku_jimukyoku@wakei.or.jp)>





# 和敬塾メールマガジン第52号



2023年10月31日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第52号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 第34回和敬塾ホームカミング大会が盛大に開催されました！

10/28(土)、秋晴れの下、第34回和敬塾ホームカミング大会が盛大に開催されました。昨年に続き、対面での開催となった今回のホームカミング大会には全国の塾友約160名が集まりました。コロナが5類に移行しての初の開催となったこともあり、昭和30年代、40年代卒塾の塾友も多数参加されていたのが印象的でした。

大会は13時から大講堂で式典と講演会が開催され、15時過ぎから本館中庭で懇親会が開催されました。

式典では物故者追悼、主催者代表挨拶(永井塾友会長)、招待学年代表者挨拶(S48西・堂垣内重晴氏)、祝辞(前川正理事長)、塾歌斉唱がありました。

塾歌斉唱は久しぶりに声を出して唄えるということもあり、皆さん張り切って唄っておられましたが、1番で終わってしまったことに、中には消化不良気味の方もおられたようでした。

記念講演は国立科学博物館館長の篠田謙一氏が「古代ゲノム解析による我々の起源」と題する講演をして戴きました。

国立科学博物館は、今年の夏、クラウドファンディングで寄附を募ったところ、1日で目標額の1億円を獲得したことでニュースとなり、篠田館長は一躍「時の人」となりました。講演会の冒頭でもこの点に触れ、目標額の数倍の寄附を戴き、その使いみちに頭を悩ませているとの羨ましい話がありました。

講演では様々な事例を通して、我々日本人のルーツについての説明がありましたが、講演終了後の質疑応答で専門的な質問が多数あり、塾友の博学に改めて驚きました。

詳細な式典内容や講演内容については次号の塾友会新聞(コリー新聞)にお譲りしたいと思います。

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。  
公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku jimukyoku@wakei.or.jp)>



主催者代表挨拶をされる永井塾友会長



講演する篠田謙一氏



ゲノム解析等で日本人の起源について講演



本館中庭での懇親会





# 和敬塾メールマガジン第53号



2023年11月10日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第53号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 前川正雄塾長著作の新刊本が今月末に発売されます！

この度、前川正雄塾長著作の本がダイヤモンド社から出版されることになりましたのでお知らせ致します。今月末には全国の書店に並ぶ予定です。

和敬塾塾長 前川正雄著

### ホモ・サピエンスは生き残れるか

日本のモノづくり、人づくりから考える

<京都大学前総長の山極壽一先生から推薦文を頂きました。>



塾長の既刊書籍、「モノづくりの極意、人づくりの哲学」・「競争から共創へ」・「再起日本！」・「マエカワはなぜ『跳ぶ』のか」・「世界を変える『場所的経営』」等々を集大成したものになります。

この本では、前川製作所におけるモノづくりの経験から感じた共同体の重要性の他、塾長がここ数年で和敬塾にほぼ毎日出勤される中で感じられた和敬塾の姿を、「和敬塾とはどういうところか」、「和敬塾の人づくりはどんな特徴があるのか」という視点で論じられています。

また、前川製作所でのモノづくりや和敬塾での人づくりの実際の現場を通し、その根底にある日本型共同体の考え方が今の行き詰まった世界や日本に何らかの示唆を投げかけられないかを論じられています。

※ 発行日やその他詳細につきましては、別途連絡させていただきます。

<文責：佐藤一義(和敬塾専務理事)>





# 和敬塾メールマガジン第 54号



2023年11月27日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 54 号をお送り致します。  
今回は予餞会の告知版です！ なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 12/10 の予餞会で元外務次官の藪中三十二氏が講演されます！

来る12月10日(日)に開催予定の令和5年度和敬塾予餞会において、元外務次官の藪中三十二先生が記念講演されることになりました。

藪中先生は現在、大阪大学特任教授をされながら、「グローバル寺子屋・藪中塾」を主宰し、月に1度、京都で勉強会を実施し、学部生から院生、社会人まで多様なバックグラウンドを持つ若者と様々なテーマについて議論を交わされ、人材育成に尽力されています。また、日曜日の朝にTBS系列で放送中のサンデーモーニングでは、コメンテーターとして出演されています。

今回は「緊迫する国際情勢と日本の針路」と題してご講演いただきます。

世界各地で起きている紛争を始め、懸念される台湾有事や北朝鮮を巡る情勢など、緊迫する国際情勢の中での日本の果たすべき役割等について論じて戴きます。

(詳細は次号で紹介予定)

予餞会の主な式典内容は以下の通りです。

<式典開催時間> 9:50~12:00

<会 場> 学生ホール大講堂

- ・理事長挨拶 : 前川 正 理事長
- ・送辞／答辞 : 在塾生代表／卒塾生代表
- ・塾友会長挨拶 : 福山 幸一 会長
- ・記念講演(10:40~11:50) : 藪中三十二 先生  
(その後、記念撮影等が続きます。)

予餞会に参加を希望される方は、配席の準備の為、下記の和敬塾事務局のメールアドレスに「お名前・塾との関係性(例えば塾生保護者や塾友)・連絡先(電話番号とメールアドレス)」を12月5日(火)までにご連絡戴くよう、お願い申し上げます。

なお、卒塾生の保護者の方は各寮長にご連絡戴き、事務局への連絡は不要です。

<[juku jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku jimukyoku@wakei.or.jp)>

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku jimukyoku@wakei.or.jp)>

### 藪中三十二先生のプロフィール



#### <ご略歴>

1948年:大阪府生まれ。

1966年:大阪府立住吉高等学校卒業後、大阪大学法学部へ進学

1969年:外務省入省 韓国、インドネシア、米国在勤の後、北米第二課長(日米経済摩擦担当)、国際戦略問題研究所主任研究員(ロンドン IISS)、ジュネーブ代表公使、本省総務課長、アジア局審議官を経て、在シカゴ総領事

2002年:アジア大洋州局長(六者協議首席代表)、外務審議官(経済担当・G8サミット・シェルパ)、外務審議官(政務担当)

2008年:外務事務次官

2010年:外務省退官後、立命館大学客員教授、大阪大学特任教授。また、「グローバル寺子屋・藪中塾」を主宰。

2022年:瑞宝重光章受章

著書に「外交交渉 40年・藪中三十二回顧録」「対米経済交渉」「国家の命運」「日本の針路」「世界に負けない日本」「トランプ時代の日米新ルール」「核と戦争のリスク(共著)」「世界基準の交渉術」他





# 和敬塾メールマガジン第55号



2023年12月11日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第55号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 令和5年度・第68回和敬塾予餞会が盛大に開催されました！



12/10(日)、令和5年度和敬塾予餞会が以下のプログラムで盛大に開催されました。

令和5年度 予餞会プログラム	
式典（大講堂）	
9:50	理事長挨拶／前川理事長
10:00	送辞／在塾生代表
10:10	答辞／各寮卒塾生
10:40	来賓祝辞／塾友会：福山会長
10:55	記念品贈呈10:40
11:00	記念講演／薮中三十二氏
記念撮影（大講堂）	
12:30	記念撮影
祝賀パーティー（食堂）	
13:15	開会
13:55	閉会



4 寮代表の卒塾生



東寮：小林君



西寮：二宮君



新南寮：太田君



北寮：中村君



来賓挨拶：福山塾友会長

最初に登壇した前川正理事長は、今年の卒塾生が4年前のコロナ禍が始まった中に入塾し、体育祭も無いなど制約が多い塾生活を強いられたことに触れた後、今年は騎馬戦を初めとするフルスペックの行事ができたことで、思い出が詰まった1年を過ごしたことや、不安定な国際情勢の中で、環境適応力を養った卒塾生が和敬を第2の故郷と思い頑張してほしいとエールを送りました。

次に塾生代表として送辞に登壇した東寮の石黒君はお世話になった先輩に感謝の思いを伝え、答辞に立った4寮代表の卒塾生からは初めて経験した騎馬戦の思い出や、1年毎に役割が違う和敬塾の4年間の素晴らしさに触れ、「良き伝統を継承して欲しい」など、後輩に対するメッセージを送っていました。

来賓として挨拶された塾友会の福山会長は、数十カ国に及ぶ自身の海外出張の経験から、外から日本を見ることの重要性に触れ、日本の将来を担う卒塾生に餞の言葉を送り、その後、塾友会の豊田氏から塾友会のネットワークの具体的な内容の説明がありました。





和敬塾シンボルマーク入りのネクタイが卒塾記念品として贈呈された後、次は恒例の記念講演です。

記念講演は元外務次官の藪中三十二氏が登壇。藪中氏は日曜日の朝に放送される TBS 系のサンデーモーニングのコメンテーターとして出演されていますが、この日も同番組の生放送に出演されてから和敬塾に来られたとのことで、開口一番「テレビ用の派手なシャツのままで来ましたが、お許しください！」とその離れ業をさりげなく紹介されていました。(藪中氏の経歴は前号で紹介済みですので割愛します。)

藪中氏は 40 年間の外務省経験を活かし、グローバル戦士を育成したいとの思いからグローバル寺子屋・藪中塾を開講し、若者の育成に取り組んでいることを紹介。

くしくも会場には立命館大学に通っていた時に藪中塾の塾生だった和敬塾 OB(東大・大学院時代に新南寮に在籍、中央官庁職員)も参加していました。

今回の演題は「緊迫する国際情勢と日本の針路」でしたが、塾生に向かい「ロジックを持って話をする」とはどういう意味かを問われ、日本とは違い、人種や宗教等の背景が違う国際社会ではきちんと論理立てて話をすることの重要性を強調されました。

その後は国際連合ができた歴史的背景やスーパーパワーが欠如した現在のアメリカの状況、ロシアによるウクライナ侵攻、台湾有事、イスラエル・パレスチナ問題など、現代の国際情勢の危うさを様々な事例を通して紹介されました。

また、歴史的に戦争ムードが始まると戦争になった事実を通し、戦争が近づいているという思考に落ちいることの危険性も指摘。

そういう中で、日本がなすべきこととして、①日米関係を軸にした抑止力の構築、②防衛力の一定の整備・強化、③東アジアの平和を維持する外交努力 の 3 点を紹介。

また、ご自身がアジア大洋州局長の時に、小泉首相(当時)と共に北朝鮮との日朝首脳会談に同席された時の緊張感ある様子もリアルに紹介された後、北朝鮮の非核化に対する外交努力が日本にとって最重要となる旨の話もあり、アジアでの平和を進める外交が日本に求められているという話で講演を終えられました。

講演後の質疑応答では 3 名の塾生が質問をし、分かりやすく丁寧に答え戴いたのが印象的でした。

記念講演の後には、大講堂で記念撮影をし、その後、食堂での記念パーティーとなり、前川正雄塾長が洋々と拓がる将来の日本経済の中で塾生が活躍をすることを期待する話をされ乾杯の音頭を取られ、パーティーが始まりました。式典後のパーティーは実に 4 年ぶりとなるもので、今回の卒塾生を初め在塾生が塾内のパーティーに参加するのは初めてとなり、食堂スタッフが腕によりをかけて作った料理に舌鼓を打ち、賑やかな歓談となり、14 時前に一連の行事が終了しました。

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。  
公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku.jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku.jimukyoku@wakei.or.jp)>







## 和敬塾メールマガジン第 56 号



2023 年12月14日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 56 号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

### 塾友がプロデュースしたモンゴルの絶景紹介の番組が放送されます！

今年のメールマガジン第51号でもご紹介した塾友(昭和 51 年北寮卒)の井上隆史氏(元東京藝術大学 社会連携センター 特任教授、元 NHK 放送センター放送総局エグゼクティブプロデューサー)より、以下のメールが入りましたのでご紹介致します。

私と元モンゴル駐在大使の二人で 5 月にモンゴルに行って、NHKとの共同制作の仲介を行った「体感！グレートネイチャー」が 12 月末～来年の 1 月に放送されます。ロシアや中国との国境に近いアルタイ山脈の絶景をふんだんにご覧いただけたと思います。

モンゴルは日本にとってアジアで最大の友好国です。コロナ開けで日本から多くの観光客が行くように願ってモンゴルの制作チームも頑張ってくれました。ぜひ皆様にご覧いただければ幸いです。

ただ残念なことにNHKはBSプライムが 12 月 1 日から停波になり、この放送はNHKBSP4Kのみとなっています。多くの皆さんに観て戴きたいので、新 BS チャンネルでも放送してもらうよう、働きかけたいと思っています。

51年北寮卒 井上隆史



※NHKBSP4K:2023 年 12 月 25日(月)19:30~20:59

※NHKBSP4K:2024 年 1 月 8日(月) 8:00~ 9:29

※NHKBSP4K:2024 年 1 月 10日(水)14:00~15:29

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku.jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku.jimukyoku@wakei.or.jp)>



# 和敬塾メールマガジン第60号



2024年2月15日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第60号をお送り致します。  
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

## 塾生がNHK-Eテレの番組に出演します！



(NHK-Eテレの番組紹介サイトより)

塾生(北寮生)が NHK-E テレの「**ロッチと子羊**」という番組に出演します。

### <“ロッチと子羊”について>

コロナ禍で自分の未来はどうなってしまうのか…多くの人々が悩みを抱えている。日々の生活から自分の将来、社会のしくみまで、この番組ではあらゆる「お悩み」に、哲学的な視点を持って、見方を変えることで生きるヒントを見つけ出そうという新しいお悩み解決バラエティ番組です。

そんな悩める方に寄り添い、お悩みを受け止めるのはお笑い芸人ロッチのお二人。解決のヒントをくれるのは世界の有名哲学者。彼らは生涯かけて悩み続けたいわば「悩みのプロフェッショナル」。そんな哲学者の考えを伝授してくれるのが山口大学の小川仁志教授です。

### <出演者・キャストほか>

司会進行:

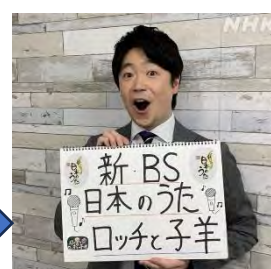
ロッチのお二人(お笑い芸人)

哲学解説者:

小川仁志教授(山口大学)

ナレーション担当:

渡辺健太アナウンサー



※ 番組のナレーションを担当している渡辺健太アナウンサーは和敬塾東寮出身です(H24卒)。



<和敬塾生の出演内容について>

番組の趣旨が「お悩み相談」ですので、「学生寮ならではの暮らしについての悩み」や、「共同生活上の悩み」、「人間関係の悩み」などを4人の北寮生にインタビューしたようです。後は、番組を観ての楽しみ！

1)坂君(1年)、河口君(2年)出演

■初回放送:Eテレ 3月14日(木)20:00~20:29

■再放送 :Eテレ 3月17日(日)00:00~00:29

■再々放送:Eテレ 3月21日(木)14:15~14:44

2)中村君(4年)、住吉君(1年)出演

■初回放送:Eテレ 3月21日(木)20:00~20:29

■再放送 :Eテレ 3月24日(日)00:00~00:29

■再々放送:Eテレ 3月28日(木)14:15~14:44

<番組スタッフと北寮生の記念写真@北寮玄関前>



前列左端:小川先生。その隣、ロッチ・中岡さん。右端、ロッチ・コカドさん。

## 新年度の新入塾生を募集中です！

皆様のお知り合いで首都圏の大学に合格された方が居ましたら、和敬塾をご紹介下さい！

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

\*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <[juku\\_jimukyoku@wakei.or.jp](mailto:juku_jimukyoku@wakei.or.jp)>